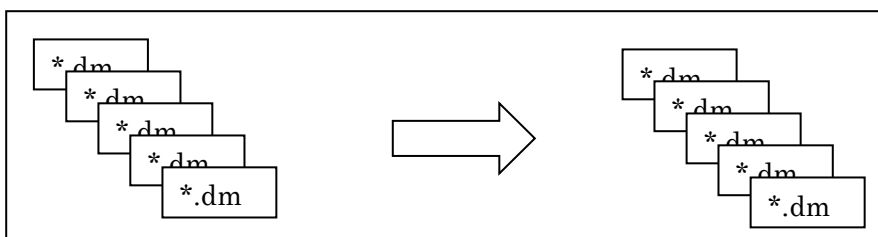


## 1. 注記を変更

新メニュー「DM から DM/注記を変更」を追加しました。

指定されたフォルダの DM ファイルを開き、注記を変更して、別のフォルダの保存します。



### DM ファイル入力フォルダ

変換元の DM データファイルのフォルダを指定します。このフォルダの「.dm」「.kih」を参照します。

### 注記の字大と字隔を半分する

注記(E7)の字大と字隔を半分の値にします。元の字大が 1 の場合は 1 のままです。

(処理内容を明示するためのチェックボックスです。チェックが入った状態になっています。)

### DM ファイル出力フォルダ

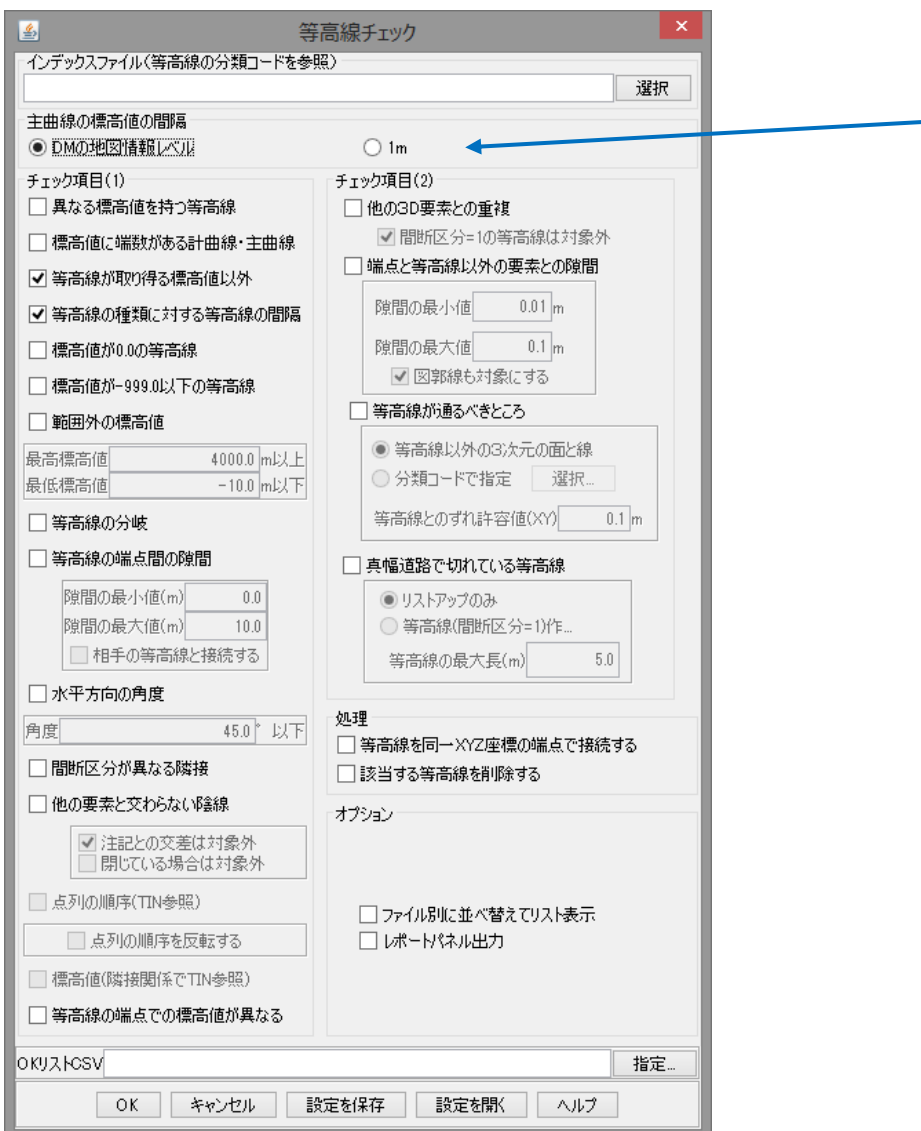
DM データファイルの出力フォルダを指定します。同じファイル名で作成しますから、入力とは別のフォルダを指定します。



レポートパネルには元の字大・字隔と、変更後の値などを表示します。

## 2. 等高線チェック

メニュー「チェック 1/等高線チェック」に「主曲線の標高値の間隔」を追加しました。



### 主曲線の標高値の間隔

等高線の主曲線の標高値の間隔を指定します。デフォルトの「DMの地図情報レベル」は、図郭レコードに記録されている地図情報レベルに対応した値になります。地図情報レベル 2500 では、2m 間隔となります。「1m」は、主曲線の間隔が 1m としチェックします。地図情報レベルが 2500 でも、等高線の間隔が 1m の仕様に対応するための設定です。

この設定が範囲絵するのは、次のチェックです。

- ✓等高線が取り得る標高値以外
- ✓等高線の種類に対する等高線の間隔

この指定は 2017/03/22 に追加しました。